

令和2年度 事業報告

当センターは、地域の高齢者の多様な就業ニーズへの対応、高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進に努めております。

令和2年度は、公共施設の統廃合に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により会員が就業する施設の一時休業、派遣先製造工場の生産調整などが進む等、当センター会員の就業機会に深刻な影響を与えました。

就業機会の減少と高齢者の外出自粛の高まりなどが相まって退会者は63名（前年度比30名増）に及び、また、入会者は新規会員獲得のための「お仕事説明会」が年度当初の2箇月間中止せざるを得ない状況となるなど、新規入会者は37名（前年比8名減）にとどまり、会員数は335名（前年度比26名減）となりました。また、令和2年度新たに実施した「特別会員制度」については、特別会員登録者が1名にとどまっており、就業不能となった場合における高齢者の社会参加の機会提供や退会抑制などの目立った成果が得られていない現状です。

これらのことは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け例年5月開催の定時総会開催に係る書類配布等を、地区連絡委員による配布から郵送に切り替えたため、退会抑制の働きかけや特別会員制度についての丁寧な説明が困難だったことが影響したと思われまます。継続的な制度の周知定着に努める必要があります。

令和2年度の受託事業実績は、公共施設の統廃合や新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設の休館等の影響を受け、前年度に比べて大きく減少し、受注件数が10.6%減、契約金額で16.2%減となりました。

これまで堅調に推移してきた労働者派遣事業も、派遣労働者に対する同一労働同一賃金の実現を目指す労働者派遣法が令和2年4月に施行されたことによる外部委託廃止の動きや、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞、生産調整による就業人員の適正化等の影響を受け、事業実績についても前年度に比べて大きく減少し、契約金額で23.8%減となりました。

「空き家等管理業務」については、ふるさと納税の返礼品となっており、関係機関とも連携を図りながら、利用者の満足度を高めて継続的な受注につなげるよう努めました。

「介護予防・生活支援事業」についても、関係機関との連携を図り、利用者の希望に添ったサービスの提供を行い、受注機会の拡大や就業会員の確保に努めました。

当センターは、令和3年度に法人設立30周年を迎えます。このため、会員を中心とした「設立30周年記念事業実行委員会」を設置し、3つの記念事業（記念誌発刊・記念式典挙行・会員作品展開催）の計画立案を行い、記念事業の準備に着手しました。

令和2年度の事業運営にご理解とご協力をいただいた発注者の皆様と会員はじめ関係各位には深く感謝申し上げます、令和2年度の事業実績について以下のとおりご報告申し上げます。

○会員の状況（年度末）

	令和元年度	令和2年度	増 減
男 性	213名	203名	10名減
女 性	148名	132名	16名減
合 計	361名	335名	26名減

会員の平均年齢 73.7歳（男性74.2歳、女性72.9歳）

○受託事業実績

	令和元年度	令和2年度	前年度比
受託件数	4,575件	4,091件	89.4%
契約金額	162,433,707円	136,066,403円	83.8%
就業延人員	33,102人日	27,465人日	83.0%
就業率	81.2%	76.8%	94.6%
〃 (派遣を含む)	93.4%	91.3%	97.8%

○派遣事業実績

	令和元年度	令和2年度	前年度比
就業会員	67人	62人	92.5%
就業延人員	9,077人日	7,167人日	79.0%
契約金額	52,686,936円	40,166,278円	76.2%